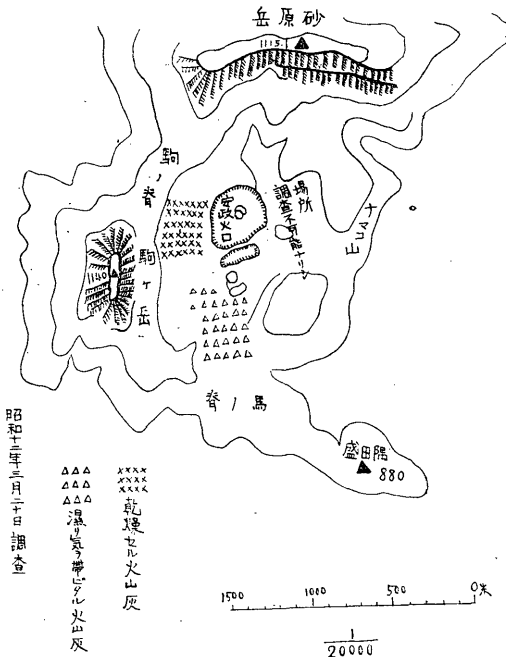


# 昭和 12 年 3 月北海道駒ヶ岳噴火調査報告

函 館 測 候 所

昭和 12 年 3 月 17 日北海道駒ヶ岳噴火し軍川方面に降灰現象を見たる旨の報告を渡島支廳より受けたるを以て、鐵道沿線大沼、森方面を調査したるも降灰の現象を認め得ざりき。



然るに 19 日午前 8 時茅部郡鹿部村長より本朝駒ヶ岳爆發し午前 5 時過ぎ同村市街地へ降灰を見、積雪面は鼠色を呈せる旨の電話通知を受けたり、依つて調査のため同日午前 11 時 40 分發の列車にて出張調査するに、風向の関係上軍川、大沼附近は少しの降灰もなかりしも、大沼より鹿部電車に依り鹿部に至る間の降灰分布状態を見るに、留之澤附近より

降灰を見、次第に其量を増し第一發電所附近最も甚だしく、附近の高丘地は勿論平地も降灰の厚さ 6 粒程度あり、見渡す限り鼠色と化せり。鹿部へ近づぐに従ひ降灰量減少し同市街地にては 2 粒程度にて附近一體は淡鼠色を呈せり。降灰は同日午前 5 時頃より初まり 6, 7 分間繼續せりと云ふ。同日午前 11 時頃市街の南方鶴の湯附近に少量の降灰を見たりと云ふ、之の降灰は第 2 回の噴出による降灰か、それとも第 1 回目の噴出によるものの上空に在りしものが上層風



明なり。然して降灰中には拳大の石塊もありたり。

今回活動せし火口は安政噴火口にして火口底に新たに噴火の生ぜしものあるべきも噴煙量多量なるのみならず時々微少なる降灰あり詳細なる調査は不可能なりき。

當所管内に於ける降灰せる地方は下の如し。

龜田郡戸井村，降灰の時刻 3 月 19 日午前 5 時頃，降灰の厚さ約 1 耗。降灰區域管内一般

龜田郡尻岸内村，降灰の時刻 3 月 19 日午前 5 時頃 降灰の厚さ約 3 耗。降灰區域尻岸内村字日浦，豊浦，女郡川。茅部郡白尻村，熊泊村以北に於て土及雪面上に灰色を辛じて認めたる程度。茅部郡鹿部村，(1) 降灰の時刻 3 月 19 日午前 5 時頃 降灰の厚さ 3 耗，降灰區域同村一圓 (2) 降灰の時刻 3 月 19 日午前 11 時頃，降灰の厚さ約 1 耗，降灰區域鹿部市街

(測候技師 高信 保調査)